

# 千年の森便り No.117

2013.6.13

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

6月6日（木）臨時活動日 晴 参加：坂本文雄

### ○センサーカメラ3台目を設置

セブンイレブン記念財団助成金により購入した新センサーカメラを設置しました。これで島内には3台のカメラが稼働しています。設置場所は吊り橋の入口、ホテイ竹林内と禁断の岬へ通じる尾根です。最近シカ以外の動物が写らなくて、苦戦中です。良い設置場所のアイデアを募ります。

### ○野鳥の記録（メモの順）

ウグイス囀り ホオジロ囀り カワウ2 カケス声 キセキレイ声 ハシブトガラス声 ハシボソガラス声 ヒヨドリ2+声 ホトトギス囀り シジュウカラ囀り メジロ囀り ヤマガラ声 コゲラ声 トビ5+声 カワラヒワ囀り 以上 15種 番外コブハクチョウ（飼育）

島内のツガの大木では今年もトビの繁殖が見られません。分厚く積み上げてあった古い巣材も多方崩れ、間も無く跡形も無くなるでしょう。禁断岬の対岸からはトビの雛と思われる甘えるような声が聞こえてきました。

アブラギリは満開、イワガラミ、ウメガサソウも咲いていました。（坂本文雄）



新設のセンサーカメラ



イワガラミ 20130606 坂本文

6月9日（日）定例活動日 晴

参加は新井孝男、伊藤、鶴沢、久我夫妻、根本、福島、松田、真鍋、み、村野、森、山口の13名に船橋の田島さん。朝、7コースに分かれて、ニホンジカ調査、続いて全員で水辺清掃、午後はグループに分かれ、スズタケ自生地の植生保護柵設置、昆虫観察、キノコ観察、クロムヨウラン調査試料の一部回収など行いました。島で誕生したバンビ1頭が見つかり、植生の食害のことを一時忘れて、その可愛い姿をじっくり観察しました。昆虫観察の田島さんにはアセビを食草とする昆虫など興味深い多くの発見があったようです。オニシバリは森のあちこちに真っ赤な実をつけ、ツチアケビが咲き始め、崖のケイワタバコは開花前の蕾でした。（真鍋）



好天候に恵まれ充実の日でした



オニシバリ 20130609 伊藤



ツチアケビ 20130609 真鍋



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

この活動は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています

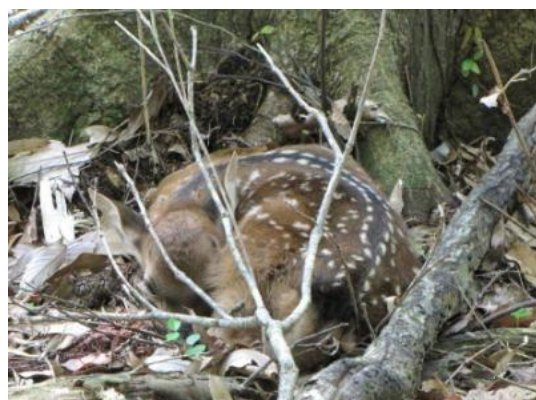
## ○ニホンジカ個体数調査

恒例となったシカの個体数調査を6月活動日朝一番の作業として全員で実施しました。島内を7コースに分け、くまなく踏査し島内にいるシカを数えるというものです。全員でつり橋を渡り、10時に調査を開始しました。シカを最初に見つけたのは1コースを受け持った鶴沢さん。メス2頭を確認しました。その後、その2頭は5コースで目撃され、最後はホテイ岬方向に走って行き湖に飛び込んで対岸まで泳いで行ったことが複数の調査者に目撃されました。また、この2頭のほかにホテイ岬のコースを担当した根本さんが、木の根元にうずくまっている生まれたばかりのバンビ（子鹿）を発見！つい最近生まれたばかりと思われ、母親が授乳に来るのをじっとうずくまって待っているようでした。おそらく、母親は目撃されたメス2頭のどちらかだと思われます。調査終了後は、バンビの授乳のために母親が戻って来やすいようにホテイ岬方面の作業は行わないことにしました。いつもは、島内の貴重な植物を食べてしまうシカですが、バンビを見るとシカってかわいくなって思ってしまうですね。今回はバンビ1頭+メス2頭の合計3頭が確認されました。

バンビは、豊英島では2004年6月13日のセラピーコースづくりの際に目撃されて以来の確認となります。豊英島生まれの小鹿の健やかな成長を祈りたいと思います。（福島）



シカ調査後のミーティングも話題はバンビに集中



島生まれ、生後？日目のバンビ(20130609 福島)

## ○水辺清掃

毎年6月に実施している豊英島島内の清掃を、参加者全員により行いました。陸地はほとんどゴミもなく、きれいなため、水位が低下している喫水線の近くを中心に、空きビン、空き缶、ビニール製品など漂着ゴミを収集しました。思いのほか水際はごみも多く、君津市の公共ゴミ袋で不燃物2、可燃物2、計4袋が収集されました。今回は、ホテイ岬方面は、生後間もない「バンビ」が発見され、刺激を避けるため、収集作業を割愛しました。（新井）



水辺の漂着ゴミ拾い

## ○植生保護柵設置

島は新緑に覆われて、涼しい風が吹き清々しい。吊り橋の近くに、鹿の食害から植物（主にスズタケ）を護るため、防除ネットの取り付け作業を10名で実施しました。メジャーで計測する人、杭を立てる人、ネットを張る人、皆で作業は手際よく進められる。ネットは高さ2m、長さ約50mです。支柱の杭は長さ2.1m、2m間隔で杭を打ちます。杭間にネットを補強するロープを張るが、最初は難しそう。誰かが「名人に張り方を教えてやれよ！」との声、名人を指導する名人は果して誰だろう。ジョークも飛び交う楽しい作業でした。（久我哲也）



ネット張り作業

## ○昆虫観察

船橋の街中に住んでおり身近な昆虫しか知らない私は、見知らぬ昆虫の棲む房総の森という別世界に戸惑いながら幸せな時間を過ごさせていただきました。「オオトラフコガネがなんて多い！」山地性の綺麗なコガネムシで、初めての出会いに感動しました。この虫は幼虫が朽木を食べるため、朽木の周辺で見かけました。同じく朽木ではクロハナムグリというシックな虫もいました。野生の鹿がアセビを食べないという事でアセビがたくさんあります。アセビを食草としているヒョウモンエダシャクは、アセビの毒を体に貯め込み身を守っている昼行性のきれいな蛾です。暗い林には蛾が多く開けた明るい所では、トンボやチョウが飛んでいました。これからも参加させていただき、観察を続けさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。



オオトラフコガネ 20130609 田島



クロハナムグリ 20130609 田島



ヒョウモンエダシャク 20130609 田島

(他に観察された昆虫) コミスジ、コジャノメ、クロコノマチョウ、フタテンオエダシャク、ハグルマエダシャク、ウスツマスジキバガ、ドクガ(幼虫)、マイマイガ(幼虫)、ホソミオツネトンボ、コシアキトンボ、オオスズメバチ、ケンオナガヒメバチの一種、コマルハナバチ、ムネアカオオアリ、ヒメクロオトシブミ、オバボタル、ムネクリイロボタル、アカサシガメ、シマサシガメ、ヨコツナサシガメ、ヤマトシリアゲ、サキグロムシヒキ、モリチャバネゴキブリ等々。(船橋市 田島正子さん)

## ○キノコ観察

次のキノコを観察記録しました。科名は「豊英島の自然」キノコ目録と異なる新分類法に準拠しています。

ツキヨタケ科；モリノカレバカケ属種、

ガマノホタケ科；ヒメカバイロタケ（幼菌）、

キシメジ科；ミネシメジ、

ベニタケ科；ウコンハツ、ベニタケ属種、

ゴムタケ科；ゴムタケ、(新しいシイタケの楯木に発生)

ハラタケ科；ザラエノハラタケの仲間、房総のハラタケ類は、梅雨に入ると多く発生しますが、今年は気温が低く、雨が降らないので、9日はわずかしら観察できませんでした。

タマチョレイタケ科；ヒトクチタケ\* (5月19日採取)。

\*5月19日採取したヒトクチタケを見て、広場で「ヒトクチタケが生えると、マツの寿命は無い」とお話ししましたが、それは間違いで、「マツの枯れた直後に発生する」と訂正します。(松田)

## ○放射性セシウム測定

放射性セシウム測定のため、ミネシメジを60グラム採取し、つくば市の国立科学博物館植物研究部、保坂健太郎先生に送りました。高濃度の放射性物質を蓄積するというきのこを長期間にわたり、モニタリングしていくことは大変意義あることであることだと考えます。今後もサンプル提供の協力をしていきます。(村野)

## お知らせ

### ○7月の定例活動日；7月15日(月、海の記念日)

9時30分、県民の森駐車場集合、光環境調査、環境整備（観察路、案内版など）、食害（植生）調査、植物調査、野鳥調査、キノコ調査、クロムヨウラン調査など盛りだくさんの計画です。多くの会員の参加を歓迎します。

### ○新しいホームページ；

福島さんのご尽力でちば千年の森をつくる会のホームページをリニューアルしました。

新しいURLはこちら→です。<http://toyofusajima.digi2.jp/>

作成に当たっては、元会員の加藤さんに以前作っていただいたものを利用させていただきました。現在は、これまで発行された千年の森便りと、豊英島の植物の写真が見られるようになっています。これから、少しずつ内容を増やし、「千年の森」の活動や豊英島の自然について、会員や地域の方々に積極的に情報発信していきたいと思っていますのでご期待ください。また、お気づきの点、ご意見などがありましたら、遠慮なくご連絡ください。